

市長とのかがやきライフトーク

と き：平成19年11月27日（火） 10:00～11:30

ところ：職員会館 2階 談話室

団 体：ドイツ国際平和村とともにWing（6名）

対話テーマ：市民活動の推進について



【対話内容】

【会員】

Wingは、平成17年2月に様々なグループの人が集まって設立されました。

まだ、設立されてから日が浅いですが、市をはじめとして様々な方に支援をいただきながら活動を行っています。

今後とも、様々な場面で活動し、頑張っていきたいと思っています。

ドイツ国際平和村は、ドイツの民間の人達がつくったNGO組織で戦争や内戦に巻き込まれた子ども達を救済する活動を行う組織です。

ドイツのオーバーハウゼンという町でスタートし、本部が置かれています。

Wingでは、ドイツ国際平和村の運営資金に対する資金を集め、送金することによる支援活動を行っています。

【会員】

Wingの活動の他に、オカリナの会の代表をしています。

成人学校を平成6年に第1期生で卒業したOBで結成しており、13年目になります。

オカリナで何かをできないかと思い、活動を始めました。

現在は、老人福祉施設でボランティアで演奏したり、敬老会に招待されて演奏したりしています。

商業施設などでもやっています。

これは、お願いされてやっているのではなく、こちらから売り込み、お願いして実

施させていただいています。

一度、実施すると、商業施設の方もよく理解していただき、次につながり、うまくいっています。

【小川市長】

自ら売り込みにいって、活動を行うというのは、すごい行動力ですね。

成人学校を卒業してからの実践活動となっており、まさに、かがやきライフの実践ですね。

ドイツ国際平和村との最初の接点は何でしょうか。

ドイツ国際平和村の活動は、言葉も違いますから、大変な事業ですね。

素晴らしい事業ですが、難しい活動でもありますね。

拠点となっているドイツのオーバーハウゼンに行ったことはありますか。

【会員】

ドイツ国際平和村との最初の接点は、テレビ番組で紹介されたのを見たのが最初です。

その時、泣けてきて、何かをやりたいと思いました。

今でも、そのときの映像を思い出すと泣けてきます。

思っているだけではそれで終わってしまいますので、それを行動に移しました。

最初は、ホームページで連絡先を探し、連絡をしました。

いろいろな方に支援をしてもらいながら、羽を伸ばして活動しています。

まだまだ勉強中ですが、活動していきたいです。

ドイツにはまだ、行ったことがなく、来年には、ドイツに行ってみたいと思っています。

【小川市長】

チャリティ活動は、寄附をもらわなければなりませんので、大変ですね。

会場費なども必要となりますし、よくやってみえますね。

【会員】

何かイベントを行う際には、会場費等を考えなければなりません。

これまでは、幸運なことに、会場使用料を減免していただくなど、何とかなっています。

昨年3月に東ちづるさんの講演会を実施した時は、文化ホールに700人集まりました。

この時は、国際平和村の活動に興味のある方ばかりではないと思われましたので、入場料で集めるのではなく、入場料を無しにして、気持ちの金額を寄附していただきました。

【小川市長】

どうすれば、もっと資金が集まり、活動が活発になるでしょうね。

たくさんの人に集まってもらって、たくさん資金が集まるといいですね。

また、皆さんが、ドイツに行くことができる資金ができるの良いですね。

【会員】

オカリナ演奏のピアノ伴奏を行っています。

別に、ピアノ講師の仕事を行っています。

ドイツ国際平和村支援の話聞いて共感して活動を始めました。

芸術祭をはじめとして、ピアノ演奏会、コーラス等をを行っていますので、是非、お出かけ下さい。

W i n gとは別の組織での活動の際には、チャリティ活動は行っていません。

「国際平和村の活動は、一部の人の支援ですね」と言われる方もおり、寄附は強制できません。

W i n g以外の活動を継続する中で、理解していただき、結果として、W i n g以外の活動でもチャリティ活動ができると良いと思います。

【会員】

子育てサポーター要請講座で学んだ2回生です。

講座でも、学ぶだけでなく、実践活動が必要であることを教えられました。

折紙の活動を行っており、図書館、地区センター、福祉施設等で活動をおこなっています。

出前講座でもやっています。

折紙の優しさが非常に良く、若いお母さんなどに好評です。

W i n gのメンバーにお会いして、話を聞き、誘っていただきました。

【小川市長】

W i n gの活動の輪がどんどん広がっていくと良いですね。

会員の皆さんが、それぞれで特技を持っておられる。

一芸に秀でているわけですね。

【会員】

W i n gには、現在13名の会員がおり、それぞれ、特技をもっております。

それぞれの能力が、W i n gの活動に役立っています。

いろいろな所で活動していきおり、幼稚園などの先生との交流も深まってきました。

私達をはじめ地域には、いろいろな能力、知識を持ち、活動をしておられる方がたくさんいます。

しかし、先生方は、ボランティアの方を呼びたいと思っても、謝礼の予算が削減されており、呼びにくくなっていると言っておられます。

私達は、ボランティア活動なので、決して謝礼がほしいわけではありませんが、呼ぶ側の方にとっては、謝礼を渡したいと思っておられます。

そうした予算を少し考え直してもらえると良いと思います。

また、先生方が、ボランティアの方を呼びたいと思っても、連絡先等が分からないといことがありますので、そうしたボランティアの方の情報が、教育委員会や市民活動推進課で止まるのではなく、保育園などの現場の方へ伝わっているとよいですね。

【会員】

一昨年の冬、雪がたくさん降った時のことですが、駅前通りの方へ行ったところ、2～3日経過していましたが、除雪がされていませんでした。

国道は早く除雪されていたように思うのですが、こうした話はどこにお願いすればよいのでしょうか。

【小川市長】

国道は国、県道は県、市道は市が、それぞれが除雪を行うことになります。

降雪のよくある地域、例えば北陸地方などでは体制が整っており、降雪があったとしてもすぐに対応され、問題になることはあまりありません。

降雪の少ない地域では準備が整っておらず、少ない雪でも対応に苦慮しているのが現状ですね。

なかなか難しい課題ですね。

【会員】

保育園の入園のことですが、私の住んでいる地域の安井保育園ですが、入園申込みに寝袋を持って夜中から列を作るといようなことを聞いています。

何とかならないのでしょうか。

また、抽選にできないのでしょうか。

【小川市長】

国勢調査によると、市内で1番人口が増えているのが安井地区で、若い世代が増えているようです。

その方たちのお子さんが安井保育園に入園を希望されるため、定員オーバーになるようです。

安井保育園は、増設を行い対応していますが、それだけでは解決に至っていないのが現状です。

一時的に入園者の増加に対応できても、その後、入園者が減ってしまうこともあります。

小中学校や、幼稚園、保育園等の施設整備の問題は、なかなか予定どおりにはいかないですね。

基本的には、市内全体で考えれば、子ども達の数は、定員内に収まっていますし、保育園には校区がありませんので、他の園も希望していただけると大変ありがたいと思います。